

## 新年の御挨拶

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

旧年中は、当機構の事業活動に格別の御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。本年も地域社会と行政の未来に貢献すべく、皆さまと共に歩みを進めてまいります。

いま、自治体を取り巻く経営環境は、これまでにない速度で変化しています。例えば人口減少や地域経済の不確実性、災害リスクの増大、デジタル化の加速などです。これにより、行政運営に求められる役割は一層複雑になりました。従来の延長線上では対応しきれない局面が増加しているといえます。

内部においても、職員構成の変化や専門性の高度化、働き方の多様化など、組織の在り方そのものが大きく変容しています。

こうした時代環境において、自治体経営の成否を分ける最大の鍵は「人材」です。制度や仕組みがどれほど整っていても、それを生かし、住民に寄り添い、未来を構想し、実行に移すのは「人」にはかなりません。私たちは、「人材育成は単なる研修ではなく、自治体経営そのものを支える「戦略」である」との確信を強めています。

だからこそ本年、当機構は「人・組織・地域社会の持続的発展」という理念のもと、未来を切り拓く自治体職員の育成と変化に強い組織マネジメントの構築を一層強力に支援してまいります。現場での実践につながる学び、組織の力を引き出すマネジメント、そして地域の未来を共に描く協働のあり方を皆さまと共に探求してまいります。

本年も、多くの皆さまと共に学び合い、地域の未来を創りあげることに挑戦できればと存じます。

末筆ながら、皆さまの御健勝と御多幸をお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年（令和8年）1月

一般財団法人公共経営研究機構  
理事長 渡部 哲也